

研修計画

(1) 主題研究

研究主題	【学び方】を身に付け、自ら課題解決を図る子の育成 ～対話的な活動によって、学び合う楽しさを実感できる授業づくりを通して～
主題設定の理由	本校は一昨年より算数科指導の研究推進を開始した。全国学力状況調査の結果を見ると算数科B問題の全国値との開きが年々縮まってきた。また、質問紙調査からも「算数の授業が分かる」と答えた児童の割合は得点率の伸びと同様に上昇し、昨年度は12ポイント全国平均を上回っている。さらに「自分にはよいところがある」と答えた児童は8割に上り、全国平均を5ポイント上回っている。一昨年度は自己肯定感に課題があったが、昨年度は「できた喜び」が「自信」に変わり、自分の考えを構築していく授業づくりに向けた改善が結果として表れた。 この実態を踏まえ本年度は、「自ら学びを楽しむ力」を育む学級経営を基盤に、授業を通して引き続き「自己肯定感」「自己有用感」を育む授業改善を推進していきたい。主題に挙げた「学び方」とは解決の方法を身に付けていること、仲間と対話的活動を通して解決することを意図している。昨年度、主体的に学ぶための方途として、「意欲」と「見通し」を挙げて取り組み成果を上げることができた。今年度はさらに対話的な学びを実現させるための交流の工夫に重点を置き取り組んでいく。 (1)ねらいを明確にした単元指導計画の作成 ①単位時間の学習目標を明確にした単元指導計画の作成 ②交流の位置づけとねらいの明確化 (2)学習指導過程の工夫 ①意欲と見通しをもつことのできる導入の工夫 ②対話的な学びを実現させるための交流の工夫 (3)児童の実態に応じた指導の工夫 ①個の実態把握とつまずきに対する手立ての工夫 ②付きたい力の定着の見届けと評価・振り返りの工夫

研究推進の具体的な計画	4月	主題研究会 1	研究主題と研究推進計画の共通理解	研究推進委員長
	5月	全校研究会(3年)	研究内容を意識した授業実践の公開(研究内容 1)	3年
	6月	全校研究会(6年)	研究内容を意識した授業実践の公開(研究内容 2)	6年
	7月	全校研究会(5年)	研究内容を意識した授業実践の公開(研究内容 2)	5年
	8月	主題研究会 2	1学期の研究の振り返りと2学期の方向性	研究推進委員長
	9月	主題研究会 3	授業改善の補充・深化	研究推進委員長
	10月	全校研究会(道徳)	授業実践の公開(道徳)	4年
	11月	全校研究会(1年)	研究内容を意識した授業実践の公開(研究内容 2)	1年
	12月	全校研究会(ひまわり・たんぽぽ)	研究内容を意識した授業実践の公開(研究内容 2)	ひまわり・たんぽぽ
	1月	全校研究会(2年)	研究内容を意識した授業実践の公開(研究内容 2)	2年
	2月	主題研究会 4	今年度の成果と課題	研究推進委員長
	3月	主題研究会 5	実践のデータ化と次年度課題の確立	研究推進委員長

(2) 学力の向上を図る取組

学力向上推進教師	ア 教務主任 イ 研究推進委員長 (学習部長) ウ 校長・教頭 エ その他	主な役割 学習指導部長を兼任し、学び方、授業改善策、全国学調の分析結果の報告など学力向上のための具体的方途の方向性を示す。
----------	--	--

(3) 現職研修

研修の具体的な計画	4月	学力向上研修会(年間を通じた授業改善の焦点化と指導の具体)	学力向上推進教師
		安全教育研修会(生活安全、食物アレルギー研修)	教頭
	5月	外国語活動研修会(英語活動の授業展開のあり方)	学力向上推進教師
		道徳教育(一部改正学習指導要領の周知)に関する研修	道徳主任
	6月	生徒指導研修会(いじめの未然防止講習)	生徒指導主事
		豊かな人間関係を育成する学級経営に関する研修(学級目標と歩み)	教務主任
	7月	安全教育研修会(災害安全、危機管理研修：心肺蘇生法)	教頭・保健主事
	8月	学力向上研修会(全国学力状況調査の結果と分析)	学力向上推進教師
		学力向上研修会(教育課程等の伝達講習会・道徳教育の推進状況確認)	各教科主任
	9月	生徒指導研修会(不登校問題対応講習)	生徒指導主事
	10月	特別支援教育に関わる研修会	特別支援コーディネーター
	11月	人権教育研修会	人権主任
	12月	学力向上研修会(2学期の授業改善の成果と実践報告)	学力向上研修会
1月	安全教育研修会(交通安全、危機管理研修：情報モラル)	教頭	
2月	生徒指導研修会(自殺予防教育)	教頭・生徒指導主事	
3月	校務データの蓄積	教務	
	学力向上研修会(本年度の課題と来年度の方向性)	学力向上推進教師	